

2021年10月5日

学校図書館議員連盟
会長 河村 建夫先生
事務局長 笠 浩史先生

公益社団法人全国学校図書館協議会
理事長 設 楽 敬 一

一般社団法人日本新聞協会
会長 丸 山 昌 宏

学校図書館整備推進会議
議長 竹 下 晴 信
(公印省略)

学校図書館図書等の整備・拡充に関する要望

2017年度を初年度とする「学校図書館図書整備等5か年計画」は、本年度で更新期を迎えます。現行の学習指導要領にある「主体的・対話的で深い学び」による授業改善には、最新資料や読み継がれる図書などの充実が欠かせません。また、探究学習に対応して各自の課題を解決するための多種多様な資料の充実も必須です。

更に、2019年の読書バリアフリー法施行後初めて策定されるものであり、読みに困難がある子どもたちにも利用しやすい学校図書館づくりを含め、新たな視点からの「5か年計画」策定が求められています。貴議員連盟におかれましては、同計画の継続と拡充について、関係省庁への働きかけなど、引き続きご配慮を賜りたくお願い申し上げます。

記

1、学校図書館蔵書の充実

学校図書館図書標準の達成と蔵書冊数や蔵書構成の見直しを図り、探究学習に必要な百科事典、図鑑、辞書などの充実を図ること。また、豊かな心を育むために、長く読み継がれている図書や最新資料などの更新を図ること。

1、学校図書館への新聞配備の拡充

即時性を生かした学習資料の利活用や主権者教育、新必修科目「公共」を推進するとともに、情報リテラシーの育成を図るためにも、読み比べによる深い学びの実現を目指して、小学校、中学校、高等学校に配備する新聞を拡充すること。

1、学校司書配置の促進

資料の専門家である学校司書の配置は将来的に1校に1名配置を促進・充実し、雇用形態の改善を図ること。

1、あらゆる子どもが利用できる学校図書館の実現

特別支援学級や特別支援学校を含め、読みが困難な子どもたちが利用できる図書の充実を図ること。対面朗読や音声資料、全校にバリアフリー図書紹介コーナーの設置など障害者サービスの充実を図ること。

以上